

臨床免疫学入門

科目責任者：今 井 陽 一（内科学（血液・腫瘍））

I. 前 文

白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの血液疾患の治療は免疫療法の進歩によって劇的に進化しています。本講座では、血液疾患の診断に必須なフローサイトメトリーの基礎から最新の免疫療法まで臨床に役立つ免疫学の基礎を学習します。さらに、患者さん自身のリンパ球に遺伝子導入し高い抗腫瘍効果を誘導するCAR-T細胞療法などの最先端の免疫治療の実際についても直接体験していただきます。

II. 受入可能人数

人数は制限しない

III. 担当教員

科目責任者 今 井 陽 一（内科学（血液・腫瘍））

担当教員 今 井 陽 一, 遠 矢 嵩, 中 村 文 美,

田 村 秀 人（埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

IV. 学習内容

2025年7月～12月に月1回の計6回開講

第1, 2回 座学 フローサイトメトリーの基礎（各1時間）

第3, 4回 フローサイトメトリー実習（各2時間）

第5, 6回 座学 最新の免疫療法（各1時間）

以上に加えて、CAR-T細胞療法の症例について適宜学習する。

V. 学修の到達目標

「必修科目 血液・造血器の理解を深め、成績向上に繋げられる。」

「最先端の免疫治療の実際に触れることができる。」

VI. 成績評価の方法・基準

「自主学習内容に関するレポート提出」

VII. 教科書・参考図書・A V資料

事前にテキストを作成して配布します。

VIII. 質問への対応方法

e-mail（y-imai524@dokkyomed.ac.jp）で予約をとってから、質問や相談に応じる。

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

事前学習 事前テキストの予習 約1時間

事後学習 復習 約1時間

X. コアカリ記号・番号

PS-01-03-18, PS-01-03-19, PS-01-03-20, PS-01-03-21, PS-01-03-22, PS-01-03-23, PS-01-03-24, PS-01-03-25,
PS-01-03-30, PS-01-04-24, PS-02-02-01, PS-02-02-02, PS-02-02-03, PS-02-02-04, PS-02-02-05, PS-03-04-09,

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

科目終了後に「最新の免疫療法」に関してレポートを提出。提出されたレポートを添削してフィードバックを行う。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	◎
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	○
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	○
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	○
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	○
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	